

## 鈴木武教授，矢作敏行教授の略歴と主要著作

出版者	法政大学経営学会
雑誌名	経営志林
巻	53
号	1
ページ	47-59
発行年	2016-04-30
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10114/00024501">http://hdl.handle.net/10114/00024501</a>

## 鈴木 武 教授の略歴と主要研究業績

### 履歴

本籍地 東京都

生年月日 1945 年 6 月 24 日

### 学歴

1964 年 3 月 都立両国高等学校卒業

1969 年 6 月 東京大学経済学部経営学科卒業

1972 年 3 月 東京大学大学院経済学研究科統計学専攻 修士課程修了

1976 年 3 月 東京大学大学院経済学研究科統計学専攻 博士課程単位取得満期退学

### 職歴

1976 年 4 月 法政大学経営学部 特別助手

1977 年 4 月 法政大学経営学部 専任講師

1979 年 4 月 法政大学経営学部 助教授

1986 年 4 月 法政大学経営学部 教授

2016 年 3 月 定年退職

### 役職

1994 年 4 月～1995 年 3 月 学生部長

1997 年 4 月～1999 年 3 月 経営学部長

2003 年 4 月～2006 年 3 月 学生相談室長

### 業績

(翻訳：分担独訳)

1981 年 ブッセ・フォン・コルベ／ラスマン「経営経済理論 第Ⅱ巻 販売理論」法政大学出版局

1982 年 ブッセ・フォン・コルベ／ラスマン「経営経済理論 第Ⅲ巻 投資理論」法政大学出版局

(論文)

1976 年 10 月 「2 つの実験の比較とその具体的算定」法政大学経営学会『経営志林』第 13 巻 / 第 3 号, 65-74 頁

1977 年 1 月 「Uncertainty Function による実験の順序づけについて」法政大学経営学会『経営志林』第 13 巻 / 第 4 号, 67-78 頁

1977 年 7 月 「有限パラメータ空間の実験の分類」法政大学経営学会『経営志林』第 14 巻 / 第 2 号, 95-114 頁

1978 年 10 月 「Extreme Experiment について」法政大学経営学会『経営志林』第 15 巻 / 第 3 号, 31-42 頁

1981 年 1 月 「日本の製造業における技術変化を考慮した生産関数（費用関数）の推定」法政大学経営学会『経営志林』第 17 巻 / 第 4 号, 95-105 頁

1982 年 10 月 「日本の製造業における産業別費用関数の推定」法政大学経営学会『経営志林』

第 19 巻 / 第 3 号, 49-65 頁

1985 年 1 月 「Estimation of the Production Functions and Cost Functions in Japanese Manufacturing Industries」法政大学経営学会『経営志林』第 21 巻 / 第 4 号, 105-137 頁

1986 年 1 月 「1981 年イギリス国勢調査について」法政大学経営学会『経営志林』第 22 巻 / 第 4 号, 59-71 頁

1986 年 7 月 「人口センサスの英米比較」法政大学経営学会『経営志林』第 23 巻 / 第 2 号, 25-37 頁

1987 年 1 月 「日本の国勢調査形成過程について」法政大学経営学会『経営志林』第 23 巻 / 第 4 号, 53-65 頁

1987 年 10 月 「19 世紀アメリカ合衆国センサスの変遷」法政大学経営学会『経営志林』第 24 巻 / 第 3 号, 121-132 頁

1988 年 4 月 「アメリカ合衆国における工業センサスの性格とその変遷 (I)」法政大学経営学会『経営志林』第 25 巻 / 第 1 号, 29-42 頁

1988 年 10 月 「アメリカ合衆国における工業センサスの性格とその変遷 (II)」法政大学経営学会『経営志林』第 25 巻 / 第 3 号, 77-89 頁

1989 年 4 月 「アメリカ合衆国農業センサスにおける諸概念について」法政大学経営学会『経営志林』第 26 巻 / 第 1 号, 79-92 頁

1989 年 6 月 「アメリカ合衆国における工業センサスについての諸概念の変遷」日本統計学会『日本統計学会誌』第 19 巻 / 第 1 号, 103-113 頁

1991 年 4 月 「イギリス生産センサスにおける諸概念の変遷」法政大学経営学会『経営志林』第 28 巻 / 第 1 号, 17-28 頁

1993 年 10 月 「交通渋滞における混雑度モデル」法政大学経営学会『経営志林』第 30 巻 / 第 3 号, 47-57 頁

1994 年 3 月 「二地点交通量のルート間配分モデル」『交通学研究 1993 年研究年報』151-159 頁

1994 年 4 月 「二地点間の交通量モデル」法政大学経営学会『経営志林』第 31 巻 / 第 1 号, 39-52 頁

1994 年 7 月 「3 地点間の単一ルートの交通量モデル」法政大学経営学会『経営志林』第 31 巻 / 第 2 号, 35-46 頁

1994 年 10 月 「3 地点間の複数ルートの交通量モデル」法政大学経営学会『経営志林』第 31 巻 / 第 3 号, 83-92 頁

1994 年 12 月 「首都圏における全道路有料化施策の可能性について」『国際公共経済研究』第 4・5 号, 64-80 頁

1995 年 10 月 「4 地点間の交通量モデル」法政大学経営学会『経営志林』第 32 巻 / 第 3 号, 55-75 頁

1996 年 1 月 「バナナ需要における弾力性の推定」法政大学経営学会『経営志林』第 32 巻 / 第 4 号, 177-190 頁

1997 年 4 月 「海外投資が国内投資に与える影響についての研究」法政大学経営学会『経営志林』第 34 巻 / 第 1 号, 31-43 頁、平成 8 年度文部省科学研究費・重点領域

1998 年 1 月 「都市人口と順位との関係」法政大学経営学会『経営志林』第 34 巻 / 第 4 号, 105-118 頁

1998 年 12 月 「個別企業データによる利益率間の関係と分布」法政大学経営学会『経営志林』第 35 巻 / 第 3 号, 103-120 頁、平成 10 年度文部省科学研究費・特定領域研究 (A)

1999 年 10 月 「街と都市の空間配置—左右の位置の意味—」法政大学経営学会『経営志林』第

36 巻 / 第 3 号, 11-32 頁

2006 年 10 月 「連続確率変数を用いたエントロピー最大化によるベキ乗則の成立条件」法政大学経営学会『経営志林』第 43 巻 / 第 3 号, 1-12 頁

2007 年 4 月 「パレート分布とユール分布との対応関係」法政大学経営学会『経営志林』第 44 巻 / 第 1 号, 1-15 頁

2007 年 7 月 「参入下限値を単位としたベキ乗則生成モデル」法政大学経営学会『経営志林』第 44 巻 / 第 2 号, 1-13 頁

2008 年 1 月 「左右の観点からみた都市のあり方」法政大学経営学会『経営志林』第 44 巻 / 第 4 号, 17-41 頁

2016 年 1 月 「超優先的選択および非定常状態におけるベキ乗則生成モデル」法政大学経営学会『経営志林』第 52 巻 / 第 4 号, 1-13 頁

## 矢作 敏行 教授の略歴と主要研究業績

1945 年 4 月 20 日 新潟県生まれ

### 学歴

1969 年 3 月 国際基督教大学教養学部卒業

### 学位

2000 年 10 月 商学博士（神戸大学、論文）

### 職歴

1969 年 4 月 日本経済新聞社編集局記者（大阪本社市場経済部配属）  
 1971 年 3 月 日本経済新聞社東京本社流通経済部記者（1984 年 2 月まで）  
 1981 年 9 月 コーネル大学フルブライト客員研究員（1982 年 6 月まで）  
 1984 年 3 月 日本経済新聞社ロサンゼルス特派員（1987 年 2 月まで）  
 1987 年 3 月 日本経済新聞社東京本社国際第二部次長  
 1990 年 1 月 日本経済新聞社退社  
 1990 年 4 月 法政大学経営学部教授  
 1995 年 4 月 法政大学産業情報センター所長（1996 年 3 月まで）  
 1996 年 9 月 オックスフォード大学テンプレートン・カレッジ小売経営研究所客員研究員  
 （1998 年 7 月まで）  
 2000 年 4 月 法政大学大学院社会科学研究科経営学専攻主任（2002 年 3 月まで）  
 2004 年 4 月 法政大学イノベーション・マネジメント研究科イノベーション・マネジメント専攻教授  
 （2008 年 3 月まで）  
 2008 年 4 月 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター所長（2010 年 3 月まで）  
 2008 年 10 月 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター流通産業ライブラリー協議会委員  
 （現在に至る）  
 2008 年 10 月 コーネル大学リテール・マネジメント・プログラム・オブ・ジャパン・コーディネーター  
 兼講師（現在に至る）  
 2010 年 3 月 法政大学同流通産業ライブラリー運営委員会委員（現在に至る）

### 学会および社会活動

日本商業学会理事、日本商業学会学会賞審査委員長、フードシステム総合研究所理事、通産省産業構造審議会・中小企業政策審議会合同会議流通小委員会委員、公正取引委員会流通問題研究会会員、東京都大規模店舗立地審議会委員、日本チェーンストア協会流通ビジョン策定委員会委員、経済産業省新流通産業研究会会員、Co-Chairperson of The Asian Pacific Retail Conference 等を歴任

### 賞罰

1976 年 11 月 流通産業研究所佐藤賞  
 1995 年 5 月 日本商業学会優秀賞  
 2008 年 5 月 日本商業学会優秀賞

## 研究業績一覧

### 図書：単著

- 『現代小売商業の革新一流通革命以降一』日本経済新聞社、1981年2月  
『コンビニエンス・ストア・システムの革新性』日本経済新聞社、1994年10月  
『現代流通 理論とケースで学ぶ』有斐閣、1996年4月  
『小売イノベーションの源泉—経営交流と流通近代化』日本経済新聞社、1997年9月  
『小売国際化プロセス—理論とケースで考える』有斐閣、2007年3月  
『商品流通論』（『現代流通 理論とケースで学ぶ』の中国語訳、訳編・呉小丁）科学出版社、2009年2月

### 図書：編著

- 『改正大店法時代の流通』（清成忠男氏と）日本経済新聞社、1991年5月  
『マテリアル流通と商業』（鈴木安昭・関根孝両氏と）有斐閣、1994年10月  
『流通規制緩和で変わる日本』東洋経済新報社、1997年4月  
『マテリアル流通と商業 [第2版]』（鈴木安昭・関根孝両氏と）有斐閣、1997年10月  
『欧州の小売りイノベーション』白桃書房、2000年5月  
*Retail Investment in Asia Pacific: Local Responses and Public Policy Issues* (ed. with Ross Davies), OXIRM, Templeton College, Oxford, 2000.  
『アジア発 グローバル小売競争』（ロス・デービス氏と）日本経済新聞社、2001年1月  
『中国・アジアの小売業革新』日本経済新聞社、2003年11月  
『日本の流通100年』（石原武政氏と）有斐閣、2004年12月  
『渥美俊一 チェーンストア経営論体系』（理論篇Ⅰ、Ⅱ、事例篇）白桃書房、2010年9月  
『日本の優秀小売企業の底力』日本経済新聞出版社、2011年8月  
『デュアル・ブランド戦略—NB and/or PB』有斐閣、2014年11月

### 図書：共著

- 『ホームショッピング新時代—情報型流通戦略』（小山周三・丸山恭一・外川洋子各氏と）東洋経済新報社、1984年9月  
『生・販統合マーケティング・システム』（小川孔輔・吉田健二両氏と）白桃書房、1993年6月  
『発展する中国の流通』（関根孝・鍾淑玲・畢滔滔各氏と）白桃書房、2009年3月

### 図書：分担執筆

- 「大店法システムとその形骸化」（鶴田俊正氏と）三輪芳朗・西村清彦編『日本の流通』東京大学出版会、第10章、1991年2月  
「小売業態間競争の展開」宮澤健一・高丘季昭編『流通の再構築』有斐閣、Ⅳ・B・37、1991年3月  
「セブン—イレブンの情報戦略」（鈴木敏文氏と）法政大学産業情報センター・小川孔輔編『POSとマーケティング戦略』有斐閣、第5章、1993年2月  
「組織小売業の発展」、「流通チャネルの変動」日経流通新聞編『流通現代史』日本経済新聞社、第4章、第7章、1993年4月  
「日本の流通システム」廣岡治哉・野村宏編『現代の物流』成山堂書店、第1章、1994年8月  
「PB戦略の枠組と展開」久保村隆祐・流通問題研究協会編『第二次流通革命』日本経済新聞社、第1章第5節、1996年5月

- 「製販統合の焦点—情報的在庫調整メカニズム」石原武政・石井淳蔵編『製販統合—変わる日本の商システム』日本経済新聞社、第7章、1996年6月
- 「変容する流通チャネル」田島義博・原田英生編『ゼミナール流通入門』日本経済新聞社、7章、1997年6月
- 「総合スーパーの成立—ダイエーの台頭」、 「ボランティア・チェーンの再評価—経営交流の場としての日本洋服トップチェーン」 嶋口充輝・竹内弘高・片平秀貴・石井淳蔵編『マーケティング革新の時代④ 営業・流通革新』有斐閣、第4章、第7章、1998年11月
- “The Evolution and Assessment of Japan’s Distribution Policies,” Feng Zhaokai, Shuzo Koyama, and Qin Yi (ed.), *A Comparison between Distribution in China and Japan*, China Zhigong Publishing, 1999.
- “The Large - Scale Retail Stores Act and its Erosion in the 1970s-80s,” (with Toshimasa Tsuruta) Yoshiro Miwa, Kiyohiko G. Nishimura, and J. Mark Ramseyer (ed.), *Distribution in Japan*, Oxford University Press, 2002.
- 「小売外資の適応化について—日本市場の国際化プロセスのなかで—」関根孝・オセジョ編『日韓小売業の展開』千倉書房、第4章[1]、2003年3月
- 「流通—『経済の暗黒大陸』の夜明け」山下裕子・一橋 BIC プロジェクトチーム『ブランディング・イン・チャイナ』東洋経済新報社、第6章、2006年3月
- 「イオンの中国シフト—SC事業の発展可能性を探る」向山雅夫・崔相鐵編『シリーズ流通体系 <3> 小売企業の国際展開』中央経済社、第10章、2009年7月
- 「国際マーケティング」、 「流通」(鍾淑玲氏と)、吉原英樹・白水光秀・新宅純二郎・浅川和夫編『ケースに学ぶ国際経営』有斐閣、第3章、第11章、2013年12月

#### 論文（研究ノート、雑誌論文を含む）

- 「対抗力概念の再検討と多元的流通システムの展開」『これからの流通産業』流通産業研究所、1976年11月
- 「欧州の出店規制」『RIRI 流通産業』1978年1・2月号、流通産業研究所
- 「価格決定権の奪取」『季刊消費と流通』1980年春号、日本経済新聞社
- 「小売業の国際比較—アメリカ小売業発展の歴史—」『RIRI 流通産業』1980年5月号、流通産業研究所
- 「大規模小売企業の転機と成長」『季刊消費と流通』1981年春号、日本経済新聞社
- 「小売商業の競争と合併規制（上）」『RIRI 流通産業』1982年2月号、流通産業研究所
- 「小売商業の競争と合併規制（中）」『RIRI 流通産業』1982年3月号、流通産業研究所
- 「小売商業の競争と合併規制（下）」『RIRI 流通産業』1982年4月号、流通産業研究所
- 「消費効用なき国ニッポン」『RIRI 流通産業』1987年9月号、流通産業研究所
- 「流通からみた内外価格差問題」『RIRI 流通産業』1990年5月号、流通産業研究所
- 「小売競争の進展と流通系列化—家電流通構造論」『経営志林』第27巻第4号、法政大学経営学会、1991年1月
- 「チェーン組織の再評価」『RIRI 流通産業』1991年6月号、流通産業研究所
- 「流通システムにおける延期-投機概念の拡張」『経営志林』第29巻第1号、法政大学経営学会、1992年4月
- 「コンビニエンス・ストア・システム論（上）」『経営志林』第29巻第2号、法政大学経営学会、1992年7月
- 「流通系列化の展望」『中小企業金融公庫月報』1992年11月号、中小企業金融公庫

- 「コンビニエンス・ストア・システム論（下）」『経営志林』第29巻第4号、法政大学経営学会、1993年1月
- 「小売店頭主義と新たな分業関係」『RIRI 流通産業』1993年3月号、流通産業研究所
- 「一括受注生産・流通システム論」『グノーシス』Vol.2、法政大学産業情報センター、1993年3月
- 「品揃え位置の投機化について」『季刊マーケティングジャーナル』第43号、日本マーケティング協会、1993年6月
- 「コンビニエンス・ストアの戦略比較」『経営志林』第30巻第2号、法政大学経営学会、1993年7月
- 「協働的マーチャンダイジングと取引構造（上）」『経営志林』第30巻第3号、法政大学経営学会、1993年10月
- 「ボランティア・チェーン活動のジレンマ」『月刊ボランティア』93年12月号、ボランティア・コンサルタントセンター
- 「協働的マーチャンダイジングと取引構造（下）」『経営志林』第30巻第4号、法政大学経営学会、1994年1月
- 「コンビニエンス・ストアにおける取引の多次元化と同盟関係の樹立」『グノーシス』Vol.3、法政大学産業情報センター、1994年3月
- 「『取引』から『提携へ』」『RIRI 流通産業』1994年5月号、流通産業研究所
- 「21世紀百貨店ビジョン」『JSDA ジャーナル』1994年12月号、日本百貨店協会
- 「第2次流通革命と小売業の対応」『公開経営』1995年3月号、公開経営指導協会
- 「価格破壊：学習する商業者」『中小公庫月報』1995年6月号、中小企業金融公庫
- 「流通情報化で何かどう変わるのか」『調査月報』1995年7月号、国民金融公庫
- 「ニッポンの価格」『RIRI 流通産業』1995年8月号、流通産業研究所
- 「製販統合の焦点：情動的在庫調整メカニズム」『経営志林』第32巻第4号、法政大学経営学会、1996年1月
- 「日本の流通・取引・慣行は変わったのか」『公正取引』1996年3月号、公正取引協会
- 「PB戦略の枠組と展開」『グノーシス』Vol.5、1996年3月、法政大学産業情報センター
- “The Convenience Store System – Made in Japan,” *The European Retail Digest*, Winter 1966 / 1997, Templeton College, Oxford, 1997.
- “New Large Store Law in Japan,” *The European Retail Digest*, Summer 1988, Templeton College, Oxford, 1998.
- 「流通・マーケティング研究の境界を超えて」『RIRI 流通産業』1998年4月号、流通産業研究所
- 「食品小売流通イノベーションの方向」『食流機構レポート』Vol.3 No.2、食品流通構造改善促進機構、1999年1月
- 「英国の小売り流通イノベーション・序」『経営志林』第36巻第1号、法政大学経営学会、1999年4月
- 「これからの流通はどうなるのか」『Tri – View』Vol.13 No.5、東急総合研究所、1999年5月
- 「小売りサプライ・チェーンの形成過程」『経営志林』第36巻第2号、法政大学経営学会、1999年7月
- 「物流、ロジスティックス、そしてSCM」『生活起点』No.15、セブン総合研究所、1999年8月
- 「英国プライベート・ブランドの発展過程（上）」『経営志林』第36巻第3号、法政大学経営学会、1999年10月
- 「英国プライベート・ブランドの発展過程（下）」『経営志林』第36巻第4号、法政大学経営学会、2000年1月



- "The Internationalization Process of Japan's Retail Market," 『グノーシス』 Vol.9,  
法政大学産業情報センター、2000年3月
- 「チェーンストアの世紀は終わったのか」『一橋ビジネスレビュー』49巻2号、  
一橋大学イノベーション研究センター、2001年9月
- 「新世紀の流通産業」(連載)『生活起点』2001年4月～2004年3月隔月号、セゾン総合研究所
- 「小売国際化のプロセスについて」『経営志林』第38巻第4号、法政大学経営学会、2002年1月
- 「小売外資の適応化について」『グノーシス』Vol.11、法政大学産業情報センター、2002年3月
- 「小売国際化とグローバルリテイラーの真価」『季刊イズミヤ総研』Vol.52、イズミヤ総研、  
2002年10月
- "The Localization Process of Carrefour in Taiwan," (with Su-Lin Chung) 『経営志林』第39巻第3号、  
法政大学経営学会、2002年10月
- "The Internationalization Process of Tesco in Asia," 『経営志林』第39巻第4号、法政大学経営学会、  
2003年1月
- 「東アジアにおける小売国際化の動向について」『グノーシス』Vol.12、法政大学産業情報センター、  
2003年3月
- 「グローバリゼーションと日本の小売業」『JSDA Journal』No.1547、日本百貨店協会、2003年3月
- 「グローバリゼーションと流通の変化」『生活起点』No.58、セゾン総合研究所、2003年3月
- 「チェーンストアの発展と商人たち(上)」『経営志林』第40巻第3号、法政大学経営学会、  
2003年10月
- 「チェーンストアの発展と商人たち(下)」『経営志林』第40巻第4号、法政大学経営学会、  
2004年1月
- 「食品流通システム・イノベーションの展開」『生活協同組合研究』通巻338号、生活総合研究所、  
2004年3月
- 「事例研究：イオンのアジア戦略」『経営志林』第41巻第3号、法政大学経営学会、2004年10月
- 「イトーヨーカ堂の中国現地化プロセス」『経営志林』第41巻第4号、法政大学経営学会、  
2005年1月
- 「華僑系資本の中国小売市場への参入動向」(鍾淑玲氏と)『イノベーション・マネジメント』No.2、  
法政大学イノベーション・マネジメント研究センター、2005年3月
- 「ブランディング・イン・チャイナ⑥ 経済の“暗黒大陸”の夜明け」『一橋ビジネスレビュー』  
53巻1号、一橋大学イノベーション研究センター、2005年6月
- 「韓国総合量販店市場と先発者優位の原則」『経営志林』第42巻第2号、法政大学経営学会、  
2005年7月
- 「知識ベースの小売国際化論に向けて」『経営志林』第43巻第1号、法政大学経営学会、  
2006年4月
- 「ウォルマート西友の知識移転プロセス」『経営志林』第43巻第2号、法政大学経営学会、  
2006年7月
- 「視点一国際流通観の確立を」『流通情報』No.451、流通経済研究所、2007年1月
- 「世界水準を目指す我が国小売業の課題」『流通情報』No.459、流通経済研究所、2007年9月
- 「アジア小売市場と日本流通企業の国際化」『流通情報』No.470、流通経済研究所、2008年8月
- 「中国における卸売業の展開可能性一総合商社の取り組みから一」『経営志林』第45巻第3号、  
法政大学経営学会、2008年10月
- "The Process of International Business Model Transfer in the Seven-Eleven Group: US-Japan-China,"  
(with Malobi Kar) *Asia Pacific Business Review*, Routledge, Vol.15 No.1, 2009.

- 「イオンの中国シフトを提起する」『イノベーション・マネジメント』No.6、法政大学イノベーション・マネジメント研究センター、2009年3月
- 「事例研究：ニトリの急成長・高収益を生み出すバリューチェーン構築」『経営志林』第46巻第3号、法政大学経営学会、2009年10月
- 「チェーンストア産業構築における渥美俊一の貢献と残された課題」『販売革新』2010年9月号、商業界
- 「事例研究：イズミの地域密着型経営」『経営志林』第47巻第3号、法政大学経営学会、2010年10月
- 「事例研究：コメリの独自業態の開発と展開」『経営志林』第47巻第4号、法政大学経営学会、2011年1月
- 「小売国際化プロセスにおける新規業態開発—湖南平和堂の場合—」『イノベーション・マネジメント』No.8、法政大学イノベーション・マネジメント研究センター、2011年3月
- 「PB製造受託事業論に向けて—食品メーカーの事例から—」『経営志林』第49巻第2号、法政大学経営学会、2012年7月
- 「NBとPB—2つのブランドの歴史素描」『経営志林』第50巻第1号、法政大学経営学会、2013年4月
- 「プライベート・ブランド戦略の基本論点」『経営志林』第50巻第3号、法政大学経営学会、2013年10月
- 「小売事業モデルの革新論—分析枠組の再検討—」『マーケティングジャーナル』第132号、日本マーケティング協会、2014年3月
- 「カテゴリー革新型デュアル・ブランド戦力の展開」『イノベーション・マネジメント』No.11、法政大学イノベーション・マネジメント研究センター、2014年3月
- 「商いの精神と『仕組み』革新（1）：商いの精神」『経営志林』第51巻第3号、法政大学経営学会、2014年10月
- 「商いの精神と『仕組み』革新（2）：企業文化の機能・逆機能—ウォルマートとIBM—」『経営志林』第51巻第3号、法政大学経営学会、2014年10月
- 「商いの精神と『仕組み』革新（3）：製造小売業モデル—イケアとユニクロ—」『経営志林』第52巻第3号、法政大学経営学会、2015年10月
- 「お客とともに、『経験価値』を共創する」『食品商業』2016年1月号、商業界

## 書評

- 柳孝一『流通産業革命の構図』『週刊東洋経済』1993年4月号、東洋経済新報社
- 宮澤健一編『価格革命と流通革新』『RIRI 流通産業』1995年11月号、流通産業研究所
- Joanne Lamaey, Retailing in East Asia, *The European Retail Digest*, Autumn 1997, Templeton College, Oxford, 1997.
- 小川進『イノベーションの発生原理—メーカー主導の開発体制を超えて』『季刊マーケティングジャーナル』第80号、日本マーケティング協会、2001年3月
- 黄燐『新興市場論』『季刊マーケティングジャーナル』第93号、日本マーケティング協会、2004年6月
- 佐々木聡「地域卸売業ダイカの展開—ナショナル・ホールセラーへの歴史的所産—」『明治大学社会科学研究所紀要』第54巻第1号、明治大学社会科学研究所、2015年10月

## 対談・座談会記録

- 「ディスカウントストアの将来展望」(小山周三氏らと)『RIRI 流通産業』1992年6月号、  
流通産業研究所
- 「日本チェーンストア協会会長 鈴木敏文イトーヨーカ堂社長と語る」『はーと&とーく』  
1994年7月号、日本チェーンストア協会
- 「日本のチェーンストアと流通革命(渥美俊一氏と)」『生活起点』No.46、セブン総合研究所、  
2002年3月号
- 『チェーンストア35年の総括と展望』(渥美俊一、倉本初夫両氏と)、日本チェーンストア協会小冊子、  
2003年2月
- 「グローバルな視点で“買い手市場”をリードする」(鈴木敏文氏と)鈴木敏文著『なぜ買わない  
のか なぜ買うのか』講談社、2005年3月
- 「日本チェーンストア経営は世界水準に達するか①」(ユニクロ柳井正氏と)、『販売革新』  
2007年7月号、商業界
- 「日本チェーンストア経営は世界水準に達するか②」(しまむら藤原秀次郎氏と)、『販売革新』  
2007年8月号、商業界
- 「日本チェーンストア経営は世界水準に達するか③」(セブンーイレブン北京牛島章氏と)、『販売革新』  
2007年9月号、商業界
- 「日本チェーンストア経営は世界水準に達するか④、⑤」(華糖ヨーカ堂麦倉弘氏、イオン(中国)  
田中秋人氏と)、『販売革新』2007年10月号、商業界
- 「流通革命40年の軌跡」(岡田卓也、伊藤雅俊、西川俊男、清水信次各氏と)、「21世紀の流通  
イノベーションの方向」(岡田元也、似鳥昭雄、青井浩、川野幸夫、岩崎高治各氏と)司会、  
『日本チェーンストア協会設立40周年記念特別シンポジウム座談会記録』、日本チェーンス  
タ協会、2007年12月
- 「日本チェーンストア経営は世界水準に達するか⑥」(良品計画松井忠三氏と)、『販売革新』  
2007年12月号、商業界
- 「日本チェーンストア経営は世界水準に達するか⑦」(ファミリーマート上田準二氏と)、『販売革新』  
2008年1月号、商業界
- 「日本チェーンストア経営は世界水準に達するか⑧」(ハニーズ江尻義久氏と)、『販売革新』  
2008年2月号、商業界
- 「日本チェーンストア経営は世界水準に達するか⑨」(経済産業省浜辺哲也氏と)、『販売革新』  
2008年3月号、商業界
- 「日本チェーンストア経営は世界水準に適するか⑩」(イオンモール鯛洋三氏と)、『販売革新』  
2008年4月号、商業界
- 「日本小売業協会設立30周年記念座談会—流通新時代への挑戦」(丸井青井浩氏らと)『Retail  
Shop』vol.91、日本小売業協会、2008年10月
- 「日本の労働運動における流通の役割と責任」(落合清四・藤吉大輔両氏と)、『ダイエーユニオン  
50年史』ダイエーユニオン、2012年10月
- 「いま求められるサステナビリティ流通経営」(清水正博氏と)『季刊イズミヤ総研』Vol.93、  
イズミヤ総研、2013年1月

## インタビュー記録

- 「21世紀小売業への提言」『チェーンストアエイジ』1992年1月1日号、ダイヤモンド・フリードマン社
- 「製造業もコンビニに学べ」『日経ロジステック』1994年12月10日号、日経BP社
- 「日本型CVSと流通イノベーション」『食品商業別冊』商業界、1995年10月
- 「著者に聞く・小売イノベーションの位相」セブン総合研究所『生活起点』No. 8、1999年1月
- 「この1冊『アジア発グローバル小売競争』」『チェーンストアエイジ』2001年3月15日号、ダイヤモンド・フリードマン社
- 「オピニオン：ウォルマートの日本進出で日本の流通はどうなる」『NKC Rader』（日清経営技術センター会報）2002年9月号、日清経営技術センター
- 「新春特別セミナー：チェーンストアのイノベーションってそういうことだったんだ会議」『販売革新』2003年1月号、商業界
- 「日本型流通産業の脈動を診断する」『マーケティングレビュー』2005年秋号、明治乳業
- 「最高峰論客が分析するイオンの底カークグループにおける経営イノベーションの本質をみる」『販売革新』2006年4月号、商業界
- 「アメリカ&アジア“世界プレーヤー”の真実—中国特化、カルフルー“アジアの高等戦略”」『販売革新』2006年6月号、商業界
- 「国際競争カークグローバル小売競争に日本企業は勝利できるか」『販売革新』2007年1月号、商業界
- 「日本小売・サービス業のアジアシフト」『みずほ海外ニュース』2008年6月号、みずほ銀行
- 「提言特集・新『製配販』モデルつくれ」『販売革新』2008年11月号、商業界
- 「海外市場の先覚」『イオン スタディ』2009年1月臨時増刊、商業界
- 「企業の強みを活かした『発展的国際化』を」イオン『AEON MAGAZINE』2009年3月号
- 「『ユニー・伊藤忠』3%資本提携の意味」『販売革新』2009年12月号、商業界
- 「商社の事業構想力」『販売革新』2010年2月号、商業界
- 「どうなる？ 小売業のアジア戦略」『食品商業』2014年1月号、商業界
- 「対アマゾン セブンはリアル店舗をいかにするか」『月刊コンビニ』2014年12月号、商業界
- 「『セブンプレミアム』の革新性を読み解く」『月刊コンビニ』2015年3月号、商業界
- 「『デュアル・ブランド』時代のPB進化論」『月刊マーチャンダイジング』2015年11月号、ニュー・フォーマット研究所
- 「個店経営はチェーンストアの否定ではなくその進化形」『販売革新』2015年11月号、商業界
- 「商品開発で得られる効果が技術提供と積極投資を引き出す」『月刊コンビニ』2016年2月号、商業界

## 辞典（語句説明）

- 「延期一投機の原理」、「カテゴリー・キラー」、「製販同盟」、「見込生産」、「パワーセンター」、荒川監修『最新商業事典』同文館、1995年11月
- 「延期一投機の原理」ほか11語、出牛正芳編『基本マーケティング用語辞典〔新版〕』白桃書房、2004年11月

## その他（新聞原稿等）

- 「大店法の政治経済学」（「やさしい経済学」）『日本経済新聞』1990年7月6日～12日付
- 「組織小売業の発展」（「流通現代史」）『日経流通新聞』1992年7月28日付～9月1日付
- 「流通革新、主役はコンビニ」日本経済新聞社『日経流通新聞』1994年11月8日付

- 「価格破壊継続、流通革新で」（「経済教室」）『日本経済新聞』1994年11月11日付
- 「流通論壇・欧州小売企業の挑戦⑤⑥」日本経済新聞社『日経流通新聞』1998年10月27日、11月3日付
- 「スエズ運河の向こうで学んだことー『小売国際化プロセス』を書き終えて」有斐閣『書斎の窓』、2007年6月
- 「日本の流通は卸抜きでは語れない」その理由 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター『山岸十郎オーラルヒストリー』矢作敏行・浦上卓也・安土昌一郎編 ワーキングペーパーシリーズ No.128、2012年7月
- 「日本のPB開発に大変革」（「経済教室」）『日本経済新聞』2015年1月12日付

## 学会報告

- 「マーケティング・システムにおける延期・投機概念の拡張」日本商業学会関東部会、専修大学、1992年10月
- 「生・販統合」組織学会全国大会、法政大学、1995年10月
- “The Internationalization Process of Japan’s Retail Market,” The Asian Pacific Retail Conference at Hosei University, Tokyo, March 2000.
- “Some Issues in Japan’s Market-Opening Process,” The Asian Pacific Retail Conference at Sookmyung Women’s University, Seoul, May 2001.
- “The Concept of Creative Adaptation in Retail Internationalization,” The Japan and Korea Retail Conference at Yonsei University, Seoul, March 2002.
- 「小売国際化プロセスをどうとらえるのか」日本商業学会関東部会、青山学院大学、2002年9月
- “The Localization Process of Carrefour in Taiwan,” (with Su-Lin Chung) The Asian Pacific Retail Conference at The Chinese Academy of Social Science, Beijing, November 2002.
- “The Internationalization Process of Tesco in Asia,” The Asian Pacific Retail Conference at The Chinese Academy of Social Science, Beijing, November 2002.
- 「日本のチェーンストア100年」日本商業学会ワークショップ、中京大学、2003年5月
- 「流通問題へのアプローチと研究課題について」日本商業学会全国大会統一論題、慶応義塾大学、2004年5月
- 「もう一度、小売形態発展論」日本商業学会関西部会、立命館大学、2007年12月
- 「『流通革命』の回顧と展望」経営史学会全国大会統一論題、立教大学、2008年10月
- “Foreign Retailers’ Entry into China and its Impact on the Market,” (with Su-Lin Chung) The Asian Pacific Retail Conference at Hong Kong Polytechnic University, Hong Kong, August 2009.
- “The Impact of Retail Change on Consumer Welfare: Japan’s Experience,” The Asian Pacific Retail Conference at University of Malaya, Kuala Lumpur, September 2011.
- 「小売業とイノベーション」日本商業学会全国大会統一論題、立命館大学、2013年5月